

株式会社 トピアホーム

DX宣言書

2025年3月31日
株式会社 トピアホーム
代表取締役 桐生 悟

□ 経営理念

私たちの家づくりは幸福を実現するための家づくりである

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用して全社的な業務の効率化を実施します
- ◆ 顧客一人一人のニーズに応じた最適な提案を提供します
- ◆ 地域資源を最大限に活用した家づくりを行うことで、地域経済の持続可能な発展に貢献します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2026年3月)

戦略 「デジタル技術を活用した社内業務の効率化」

- 施策
- ・ ITツールを導入し、図面作成から見積書作成までの作業時間を短縮
 - ・ 総務・経理業務の属人化を解消するため、作業を洗い出し、業務フローやマニュアルを作成
 - ・ 資材の入出庫を管理するため、資材管理システムの導入を検討
 - ・ 顧客管理強化のため、Excelでの管理から顧客管理システムに移行し、効率的な運用を実施
 - ・ 勤怠管理から給与計算までの作業をデジタル化
 - ・ 社員の業界知識を更に深めるため、研修会、および実務に沿った演習を実施
 - ・ ブランド認知度を向上させるため、SNSの活用を検討、実施

➤ フェーズ2(2026年4月 ～ 2027年3月)

戦略 「マーケティング活動の更なる強化」

- 施策
- ・ 見込み顧客の属性や会社HP・SNSの閲覧履歴を分析することで、顧客の関心やニーズを把握
 - ・ 顧客のニーズに合わせ、見込み顧客との関係をより深めるため、最適なコンテンツ(例:メールマガジン等)を作成、発信

➤ フェーズ3(2027年4月 ～ 2028年3月)

戦略 「DXで広げる魚沼地域の魅力」

- 施策
- ・ DX推進によって創出された余剰時間を有効活用し、魚沼地域の木材を活用した新規事業を検討
 - ・ 職人の技術を未来に繋げるため、次世代への技術継承方法を検討
(例:職人へのインタビューを行い、記事をまとめて当社ホームページへ掲載)
 - ・ 地域貢献のため、魚沼地域の木材で作られた住宅の魅力を広く伝えるための方法を検討

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 図面作成から見積書作成までの作業時間 : 50%以上削減(～2026年3月)
- ・ 資材管理のデジタル化、および顧客情報のシステム移行 : 完了(～2026年3月)
- ・ 勤怠管理・給与計算のデジタル化 : 完了(～2025年8月)
- ・ 研修会の実施 : 2ヵ月に1回以上(2025年10月～)